

社会的ネットワークの可視化 —米国議会上院を例に—

客員研究員
土屋大洋

前回の社内発表

- 創発概念を用いたマーケティングは可能か？
- 可能性は考えられるが、創発の厳密な定義から考えると、それを利用したマーケティングは困難
- ケース・スタディの必要性
- モデリングの必要性（セルオートマトンなど）

問題意識

- ネットワーク理論の興隆やSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の普及に見られるように、ネットワークの形成・拡大に注目。
- 社会的なネットワークにネットワーク理論の知見が使えるか。
- 本研究は、データの取りやすい米国議会上院での法案提出行動を基に、政治的なつながりを可視化することを試みる。

上院議員間のネットワーク

- 大統領制の米国では、大統領や内閣に直接的な法案提出権がないため、議会に提出される法案は、形式的にはすべて議員提出法案
- 法案の多くは複数の議員による共同提出法案
- 法案の共同提出行為を人間と人間のネットワークの一形態と見なし、100人いる上院議員の関係を可視化することを試みる。

この研究テーマと創発

- 創発を促すのがコミュニケーションであり、ネットワーク
- 人間のネットワークの可視化は簡単ではない cf. GREEやmixiの分析
- 比較的簡単に人間関係を可視化できる
データセットとして米国議会上院議員の法案提出について検討

米国議会

- 下院 (House of Representatives)
 - 定員439人 (小選挙区制)
 - 任期2年
- 上院 (Senate)
 - 定員100人 (各州から2人ずつ)
 - 任期6年: 1/3ずつ2年ごとに改選
- 2年で1会期

米国議会の構成

- 実質、共和党 (Republicans) と民主党 (Democrats) の二大政党制
- 選挙で過半数を確保した方をmajority、他方をminorityと呼んで識別
- 日本のように党固有の役職なし
 - 上院
 - 院内総務 (Leader)
 - 院内幹事 (Whip)
 - 議長は副大統領
 - 下院
 - 下院議長 (Speaker: majorityのみ)
 - 院内総務 (Leader)
 - 院内幹事 (Whip)

議事進行

- 各法案を審議するために、分野毎に委員会、小委員会
 - 委員長は必ずmajority側から出す
 - minority側のheadをranking memberと呼び、この2者が相談しつつ議事進行
- 基本的にディベートと呼ばれる討論が中心
- 案件毎に、賛成意見と反対意見を各自、均等の持ち時間で討論しあい、その後、口頭もしくは電子機器による投票にて採決
- 各議員は、基本的に、地元の意向、利益を反映した行動。投票に関しての党議拘束なし

上院のインターネット関連委員会

- Commerce, Science, & Transportation
- Judiciary
- Banking, Housing, and Urban Affairs
- など

Internet関連法案

- 第108議会(2003～2004年)上院に提出された議決案・法案
- 「Internet」というキーワードに合致する352本
- 重複を除くと263本
- うち成立したのは9本
- 1度でも成立法案提出にかかわった議員56人

Internet関連成立法案(1)

- S.150: Internet Tax Non-discrimination Act of 2003
- S.151: PROTECT Act
- S.342: Keeping Children and Families Safe Act of 2003
- S.610: NASA Flexibility Act of 2004
- S.877: CAN-SPAM Act of 2003

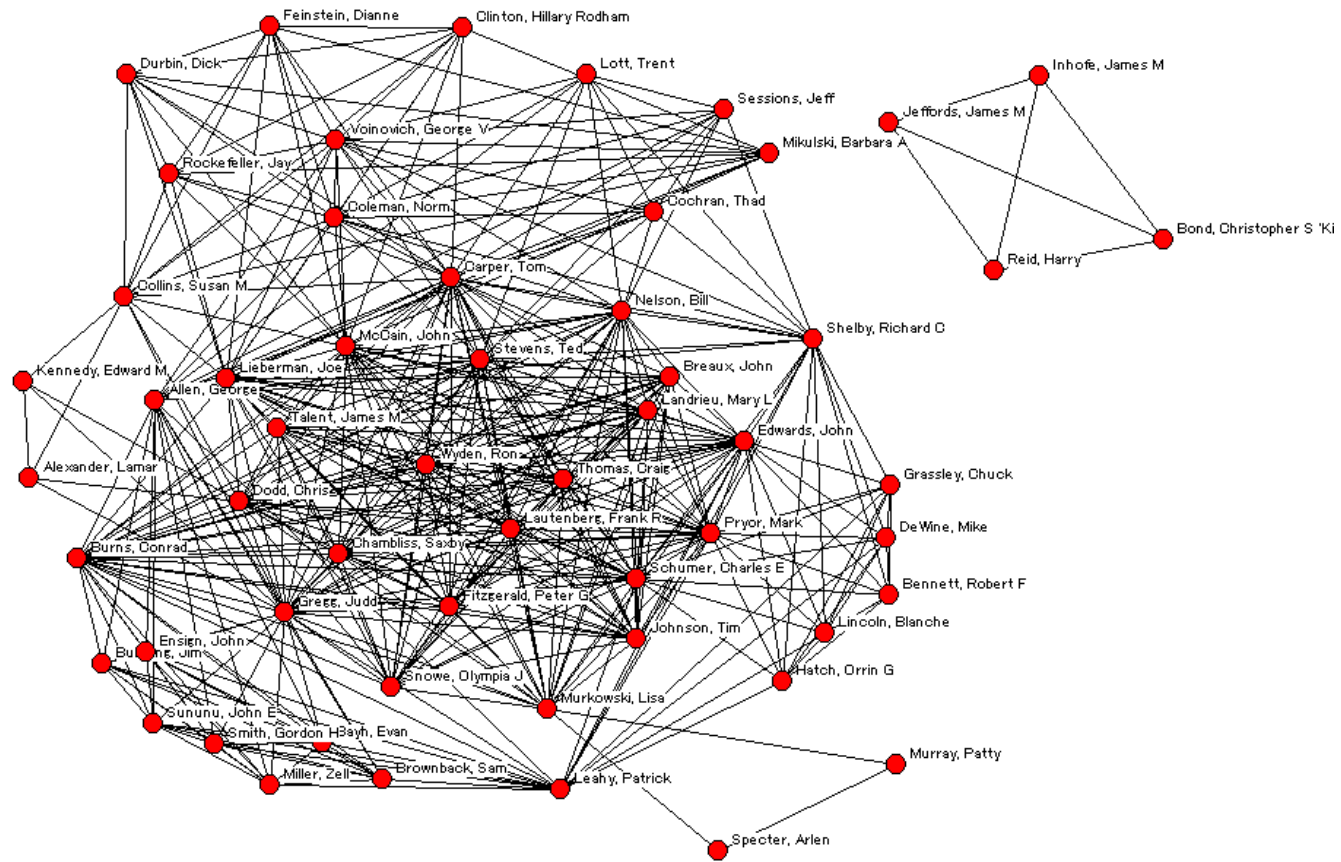
Internet関連成立法案(2)

- S.1134: Economic Development Administration Reauthorization Act of 2003
- S.2486: Veterans Benefits Improvement Act of 2004
- S.2507: Child Nutrition and WIC Reauthorization Act of 2004
- S.2845: National Intelligence Reform Act of 2004

キーパーソン

- Tom Carper
 - 民主党、デラウェア
 - 下院議員を4期務めた後、デラウェア州知事を経て、2000年に当選
- Judd Gregg
 - 共和党、ニューハンプシャー
 - chair, Committee on Health, Education, Labor and Pensions

成立したInternet関連法案に関わった議員56人の関係構造



Broadband関連法案

- 第108議会（2003～2004年）上院に提出された議決案・法案
- 「Broadband」というキーワードに合致する28本
- 重複を除くと21本
- うち成立したのは2本

broadband 関連成立法案

- S.150: Internet Tax Non-discrimination Act of 2003
- S.2845: National Intelligence Reform Act of 2004

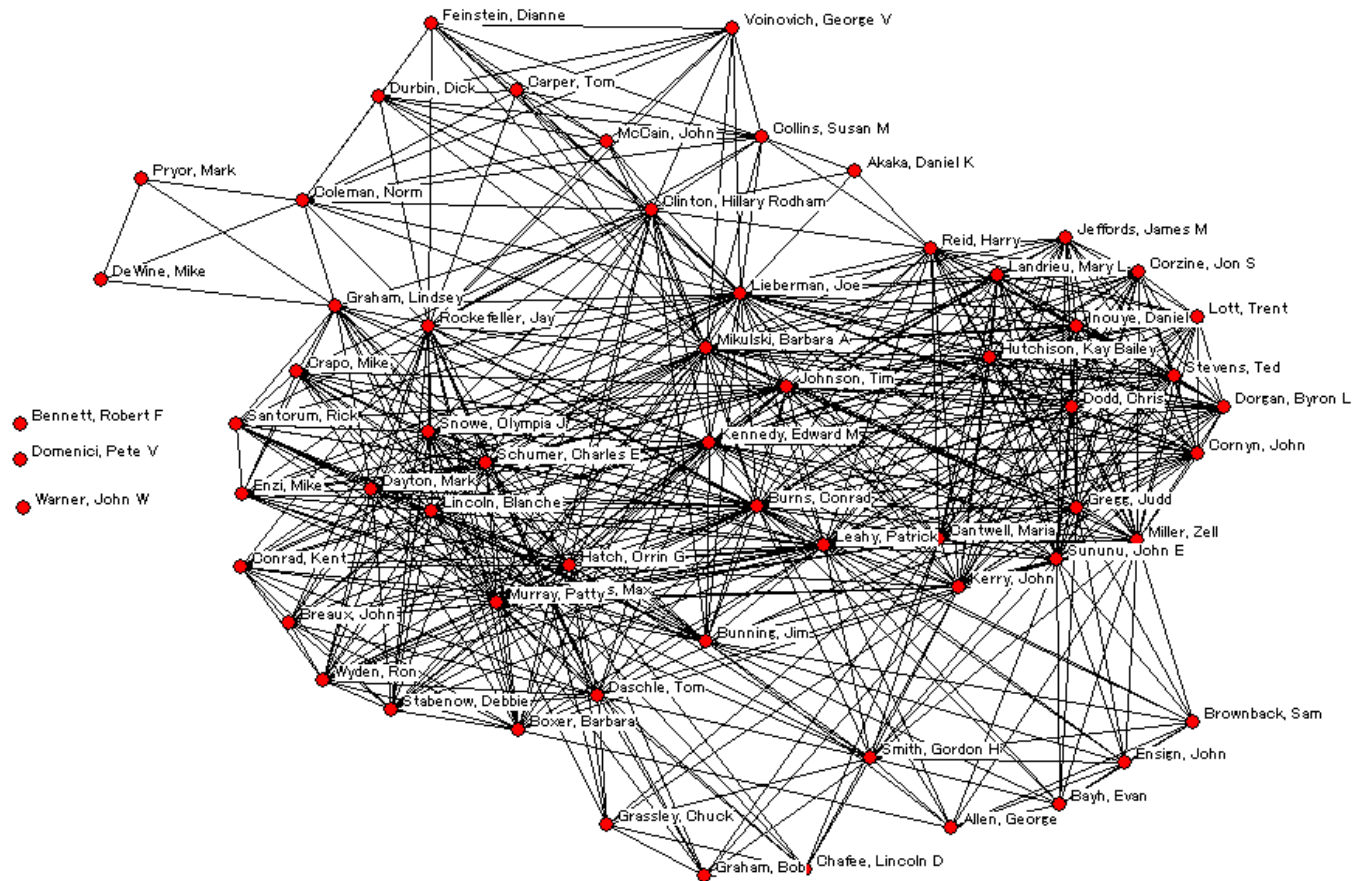
キーパーソン(1)

- Conrad Burns
 - 共和党、モンタナ州
 - 3期目
- Hillary Rodham Clinton
 - 民主党、ニューヨーク
 - 1期目

キーパーソン(2)

- Joe Lieberman
 - 民主党、コネチカット州
 - 2000年副大統領候補、2004年大統領候補
- John E. Sununu
 - 共和党、ニューハンプシャー
 - 下院を2期務めた後、上院に鞍替え

broadband関連成立法案に関わった議員の関係構造



結論

- 情報通信分野に特化して分析してみると、ある程度、ネットワークの中心と見なされるような議員が存在することが分かった。
- しかし、現実政治における、いわゆる「有力議員」「ボス議員」とは必ずしも一致しない。結果を解釈すると、影響力を拡大していこうとする中堅議員のほうが、ネットワークを拡大していこうとする傾向がうかがえる。